

ウオダス 漁海況速報 No.1540



発行日 平成 19年3月1日 <http://www.applenet.jp/~aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37

3月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
4	5	⑥	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	⑬	17
18	19	20	21	⑳	23	24
25	⑳	27	28	29	30	31

対馬暖流の水温は、はなはだ
 高め。勢力は平年並み。
 (東奥丸による日本海沖合定線観測結果)

下前 (2月21~25日)

ヤリイカ	一本釣	13隻	33kg
------	-----	-----	------

小泊 (2月21~25日)

タイ刺網	16隻	654kg	
ウスメバル	一本釣	1隻	12kg

三厩 (2月26~28日)

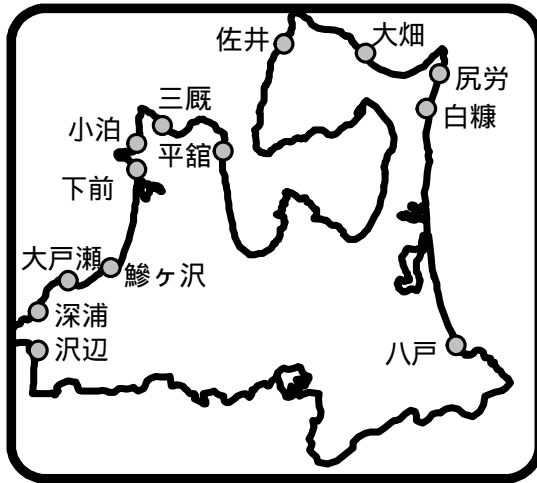
ヤリイカ	定置網	69隻	504kg
ウスメバル	一本釣	14隻	429kg
アブラツノザメ	延縄	14隻	6,780kg

主要魚種の動き (全漁法・2月26~28日)

ヤリイカ		今回	前回比	漁期累計(8月~)	去年同期累計比
(日本海)					
小泊	-	-	-	8,295kg	501%
下前	-	-	-	9,229kg	70%
鰺ヶ沢	1,304kg	17%	108,931kg	84%	
大戸瀬	1,116kg	16%	85,424kg	65%	
深浦	33kg	10%	8,625kg	74%	
沢辺	21kg	84%	718kg	100%	
(津軽海峡)					
三厩	504kg	227%	6,222kg	178%	
大畑	1,572kg	17%	55,019kg	366%	

鰺ヶ沢 (2月21~25日 追加分)

ヤリイカ	底曳網	1隻	34kg
マダラ	底曳網	1隻	22kg
アブラツノザメ	底曳網	1隻	56kg
マサバ	底曳網	1隻	2kg



平館 (2月26~28日)
 (取りまとめ中)

佐井 (2月16日~28日)
 (取りまとめ中)

(2月26~28日)

ヤリイカ	底建網	46隻	1,240kg
(1,304 kg)	底曳網	2隻	62kg
	一本釣	3隻	2kg
スルメイカ	底曳網	1隻	25kg
マダラ	底建網	14隻	264kg
(359 kg)	底曳網	1隻	95kg
ウスメバル	底建網	7隻	2kg
(30 kg)	底曳網	2隻	24kg
	一本釣	1隻	4kg
サクラマス	底建網	1隻	1kg
タイ	底建網	1隻	6kg
アブラツノザメ	底曳網	2隻	78kg
マサバ	底建網	2隻	106kg
(146 kg)	底曳網	2隻	40kg

大畑 (2月26~28日)

ヤリイカ	定置網	7隻	1,195kg
(1,572 kg)	底建網	7隻	345kg
	一本釣	5隻	33kg
マダラ	定置網	4隻	24kg
サクラマス	定置網	7隻	53kg
(444 kg)	一本釣	47隻	391kg
サケ	定置網	3隻	14kg
ウスメバル	底建網	2隻	0.3kg
(0 kg)	刺網	1隻	0.1kg
タイ	定置網	2隻	11kg
(27 kg)	底建網	1隻	17kg
ブリ	定置網	1隻	0.4kg
アブラツノザメ	延縄	2隻	334kg

マダラ (全漁法・2月26~28日)

マダラ		今回	前回比	漁期累計(11月~)	去年同期累計比
(日本海)					
小泊	-	-	-	31,593kg	51%
下前	-	-	-	17,479kg	31%
鰺ヶ沢	359kg	52%	8,089kg	14%	
大戸瀬	299kg	24%	6,944kg	60%	
深浦	0kg	-	65,546kg	112%	
沢辺	310kg	1409%	47,977kg	144%	

深浦 (2月26~28日)

ヤリイカ	底建網	4隻	33kg
ウスメバル	一本釣	5隻	24kg
サクラマス	定置網	1隻	160kg

大戸瀬 (2月26~28日)

ヤリイカ	定置網	12隻	80kg
(1,116 kg)	底建網	81隻	1,036kg
マダラ	定置網	8隻	71kg
(299 kg)	底建網	24隻	228kg
サクラマス	定置網	11隻	324kg
(352 kg)	底建網	7隻	28kg
サケ	定置網	1隻	5kg
マサバ	定置網	1隻	1kg
(25 kg)	底建網	1隻	24kg
ウスメバル	定置網	1隻	0.2kg
(39 kg)	底建網	32隻	39kg
タイ	定置網	4隻	6kg
(17 kg)	底建網	5隻	11kg

白糠 (2月11日~28日)
 (取りまとめ中)

尻労 (2月16~20日)

サクラマス	定置網	40隻	287kg
-------	-----	-----	-------

(2月21~25日)

サクラマス	定置網	16隻	70kg
-------	-----	-----	------

沢辺 (2月26~28日)

ヤリイカ	定置網	6隻	21kg
マダラ	定置網	1隻	7kg
(310 kg)	底建網	7隻	303kg
サクラマス	定置網	3隻	61kg
(76 kg)	刺網	4隻	15kg
ウスメバル	底建網	5隻	17kg

八戸 (2月21~28日)
 (対象魚種の漁獲なし)

サクラマス (全漁法・2月26~28日)

サクラマス		今回	前回比	漁期累計(12月~)	去年同期累計比
(日本海)					
鰺ヶ沢	1kg	8%	27kg	61%	
大戸瀬	352kg	12%	12,223kg	208%	
深浦	160kg	6%	11,061kg	787%	
(津軽海峡)					
大畑	444kg	38%	4,355kg	33%	
(太平洋)					
尻労	-	-	634kg	82%	

アブラツノザメ (全漁法・2月26~28日)

アブラツノザメ		今回	前回比	漁期累計(9月~)	去年同期累計比
(津軽海峡)					
三厩	6,780kg	111%	71,981kg	133%	

まかせるな
 自動操舵に
 見張りまで

沿岸各地の水温

日本海 8 ~ 9 台
陸奥湾 4 ~ 9 台

(2月26~28日)

津軽海峡 8 ~ 9 台
太平洋 6 ~ 10 台

今回は降温した地点が多く、平均前回差は-0.3度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+1.6度、津軽海峡側で+1.8度、陸奥湾内で+2.3度、太平洋側で+3.1度となっており、平均昨年差は+2.2度です。

平年と比べると、陸奥湾内ではやや高め、日本海側と津軽海峡側ではかなり高め、太平洋側でははなはだ高めとなっており、平均平年差は+1.6度となりました。

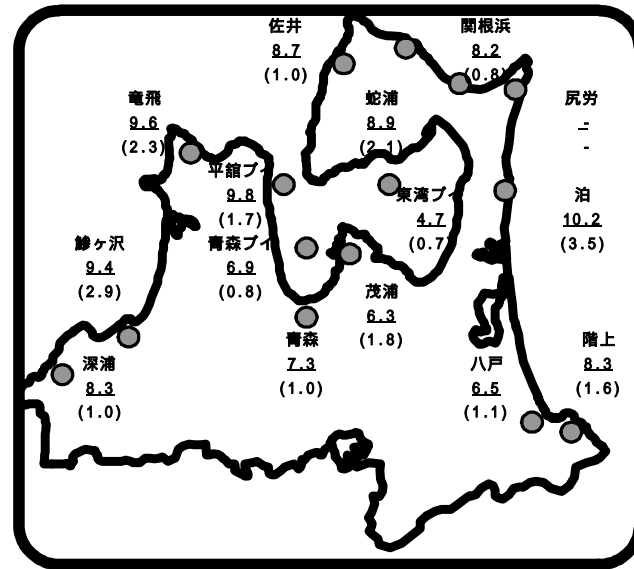


図 定地水温(2月26~28日)
平均値(平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	8.3	+1.0	+0.7	-0.3
鮫ヶ沢	9.4	+2.9	+2.6	+0.5
竜飛	9.6	+2.3	+3.2	+0.2
佐井	8.7	+1.0	+0.7	-0.2
青森	7.3	+1.0	+2.0	-1.0
蛇浦	8.9	+2.1	+1.7	-0.1
関根浜	8.2	+0.8	+1.6	-0.8
尻労	-	-	-	-
泊	10.2	+3.5	+4.0	-0.6
八戸	6.5	+1.1	+1.7	-1.3
階上	8.3	+1.6	+3.6	-0.5
茂浦	6.3	+1.8	+3.2	+0.1
平館ブイ	9.8	+1.7	+2.0	+0.4
青森ブイ	6.9	+0.8	+2.1	-0.1
東湾ブイ	4.7	+0.7	+2.1	+0.1
平均	8.1	+1.6	+2.2	-0.3

太平洋の海況 (2月22~25日)

概況; 沿岸水温は8~9台

太平洋沿岸域の表面水温 8~9台で前回と変わっていません。前年同期と比較すると3~4度高めの水温です。

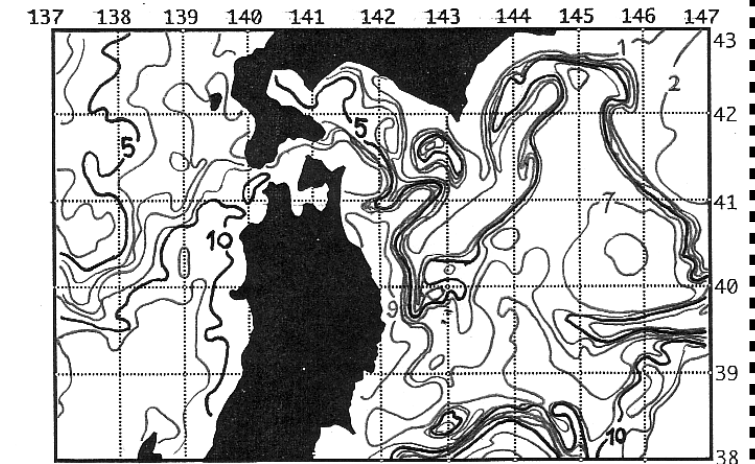
津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 8等温線でみると東経142度付近までで、張り出しは前回とほとんど変わっていません。

親潮系冷水の南下 8等温線でみると北緯38度15分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

日本海の海況 (2月22~25日)

概況; 沿岸水温は9~10台

日本海沿岸域の表面水温 9~10台で、前回と変わっていません。前年同期と比較すると2~3度高めの水温です。



資料:(社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第92号 2月26日

試験船情報

試験船開運丸は来週、太平洋においてイカナゴ調査を行う予定です。

試験船東奥丸は、2月26、27日で日本海の沖合定線観測を行いました。観測結果は右表のとおりで、各層最高水温(表面、50m層、100m層)は平年差で+2.0~2.3度と、はなはだ高い状態にありました。対馬暖流幅は船作線では平年並み、十三線ではやや広めとなっており、水塊深度と北上流量は平年並みとなっていました。対馬暖流の勢力としては平年並みであったものと思われます。

試験船青鵬丸は今週、日本海において高層魚礁調査を行う予定です。

対馬暖流流勢指標3月		2月26~27日:東奥丸						
		2003	2004	2005	2006	2007	平年差	平年比
各層最高水温(°C)	0m	9.2	9.2	9.1	9.1	11.4	2.32	353
	50m	9.00	9.46	9.71	9.14	11.26	2.09	336
	100m	8.99	9.43	9.63	9.15	11.05	1.95	283
流幅(マイル)	船作線	34.7	26.1	63.1	18.7	43.0	3.4	22
	十三線	85.7	57.4	97.5	61.2	70.5	13.7	75
水塊深度(m)		176	229	216	203	169	-17	-48
	北上流量	2.46	3.28	2.73	2.68	2.58	0.21	33

平成18年の県統計 : 漁獲数量はさばが増加、するめいかが減少

平成18年の漁獲数量を魚種別にみると、最も多かったのは、「ほたてがい」の72,702トン(構成比26.2%)で、「さば」57,513トン(20.7%)、「するめいか」52,201トン(18.8%)、「あかいか」48,112トン(17.3%)、「さけ」6,929トン(2.5%)の順となっていました。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加したのは「さば」25,899トン(対前年増減率81.9%)、「あかいか」9,345トン(24.1%)、「いわし類」3,018トン(112.4%)、「こんぶ」2,073トン(190.4%)などとなっていました。

一方、漁獲数量が減少したのは「するめいか」28,427トン(35.3%)、「ほたてがい」20,467トン(22.0%)、「ぶり」3,355トン(72.4%)、「こうなご」936トン(78.0%)などとなっています。